

岩手県大槌町で東北復興支援と環境保全を 目指す植樹活動として桜の植樹を実施！！

実施日：平成24年10月24日(水)

場所：大槌ふれあい運動公園野球場の斜面及び大槌定住促進住宅の敷地

参加：組合員等82名

回胴遊商では、環境保全活動の一環として、平成19年に神奈川県、平成20年には大阪府において植樹を実施いたしました。第3回目となる今回は東北に場所を移し、10月24日(水)、東日本大震災により壊滅的な被害を受けた岩手県上閉伊郡大槌町において、被災された方々に“元気”と“笑顔”を与え、被災地の復興の一助となるよう桜の植樹を、地元大槌町を中心に町民・各分野の専門家・サポーターとともに知恵と行動を結集して観光業・商工業・農業・水産業の再建と生活・雇用支援を目的として様々な活動を行っている一般社団法人おらが大槌夢広場の協力のもと行いました。

植樹当日は、北風が強く晴れていても肌寒い陽気でしたが、北は北海道から、南は九州・沖縄までの文字どおり全国各地の組合員等82名がボランティアとして参加しました。

植樹に先立ち、運動場で伊豆理事長が「大槌町の皆様方が我々の活動にご理解いただきありがとうございます。組合員・特別会員・賛助会員の皆様は回胴遊商の想いを桜の木1本1本に込めて植えていただきたいと思います。」と挨拶。山崎副理事長(リサイクル・環境委員会委員長)は「大槌町の皆様方には場所を提供いただきありがとうございます。1日も早く大槌町が復興できるように我々も支援・応援させていただきたいと考えております。」と挨拶し、続いて村山東北支部長は「今日植えた桜の木に花が咲く頃には大槌町が活気ある町になるよう願っています。」と挨拶しました。

次いで、大槌町地域整備部管理用地課 部長 土橋 清一様と一般社団法人おらが大槌夢広場代表理事 阿部 敬一様からそれぞれ挨拶をいただいた後、大槌ふれあい運動公園野球場の斜面に移動して伊豆理事長、大饗筆頭副理事長、山崎副理事長が記念植樹を行いました。記念植樹に続き、参加者たちは大槌ふれあい運動公園野球場と大槌定住促進住宅の二班に分かれ、スコップを手に「ソメイヨシノ」の苗木30本を慣れない作業でしたが黙々と丁寧に植えました。

植樹作業終了後、大槌町地域整備部管理用地課 課長兼高規格幹線道路対策室長 西迫 三千男様から、「何年か経って、今度は観光で大槌町を訪れていただき、桜の成長を確かめてください。」との謝辞が述べられ、第3回目の植樹活動が終了しました。

なお、今回の植樹場所である大槌ふれあい運動公園は2年後から大槌町で津波によって住めなくなった住民の移転場所となる団地が建設される予定であり、植樹した桜は2～3年後には花が咲くということですので、今後も桜の成長を見守っていきたいと思います。



[植樹の作業風景]



①記念植樹をする山崎副理事長(左)、伊豆理事長(中)、大饗筆頭副理事長(右)。



②運動公園野球場斜面での植樹作業。



③定住促進住宅敷地での植樹作業。



④乾燥を防ぐために藁を敷く作業。



⑤記念植樹前での記念撮影(左から、村山東北支部長、西迫課長、阿部代表理事、伊豆理事長、大饗筆頭副理事長、山崎副理事長)